

組付要領書及び部品表

Takakita

アグポートアタッチ
WM1121-AG

適用機種
WM1121



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットから右記QRコードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**アグポートアタッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはオートラップマシーン本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

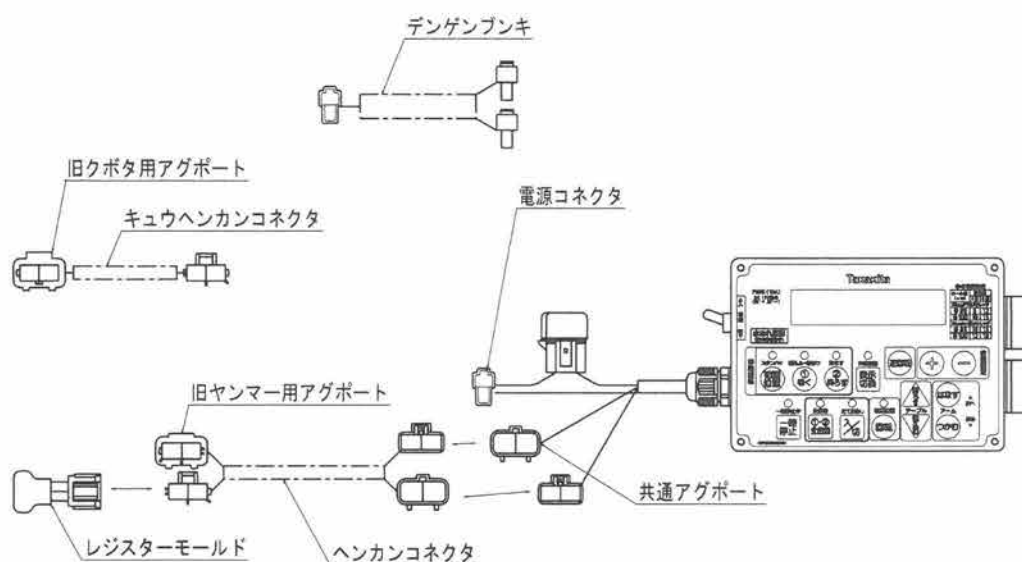
⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

各部の名称とはたらき	1
トラクタへの装着	2
1. アグポートの接続のしかた	2
2. デンゲンブンキの接続のしかた	4
運転に必要な装着の取扱い	5
1. ファンスティックの取扱い	5
2. エコトラリンク（機能割当て）の取扱い	6
3. エコトラリンク（リモコン作業）の取扱い	9
4. コントロールボックスの取扱い	13
作 業 方 法	15
1. ファンスティックを操作した作業手順と要点	15
2. 主変速レバーを操作した作業手順と要点	17
3. エコトラリンクを繋いだリモコン作業手順と要点	19
不 調 診 断	21
付 表	24
1. トラクタメーカー別機能一覧	24
2. アグポートアタッチ電装回路図	26

各部の名称とはたらき

作業機やアグポートを除くコントロールボックスのはたらきは本体取扱説明書をご覧ください。



名 称	は た ら き
共通アグポート	クボタトラクタ(アグポート付)・ヤンマートラクタ(カラーモニター付)と接続する際に使用します。
ヘンカンコネクタ	旧ヤンマー用アグポートへの変換や、レジスターモールドに接続する際に使用します。
旧ヤンマー用アグポート	カラーモニター付YTトラクタ(旧ヤンマー用アグポート)と接続する際に使用します。
レジスターモールド	接続の終端に取付けます。
キューヘンカンコネクタ	旧クボタ用アグポートに変換する際に使用します。
旧クボタ用アグポート	旧クボタトラクタ(アグポート付)と接続する際に使用します。
電源コネクタ	トラクタの電源取出し、又はデンゲンハーネスから12V電源の供給を受けます。
デンゲンブンキ	トラクタの電源取出しが足りない場合に使用します。

トラクタへの装着

作業機やアグポートを除くコントロールボックスの装着は本体取扱説明書をご覧ください。

1. アグポートの接続のしかた

注意

トラクタと作業機間の通信で使用されているコネクタは、国内トラクタメーカー共通のもの他、複数種類存在しています。接続のしかたは、お手持ちのトラクタによって異なるため、付表「1. トラクタメーカー別機能一覧」をご確認ください。

なお、ヤンマートラクタ（カラーモニター付）と接続する場合は、事前にカラーモニターでエコトラリンクを選択後、ラップマシンのアイコンが表示されていることを確認してください。

表示されている場合は、エコトラリンクで接続が可能です。

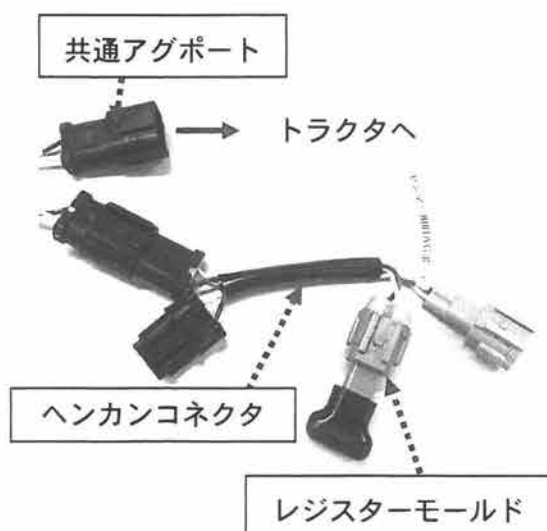
表示されていない場合は、トラクタのソフトを最新版に更新してください。

ソフトの更新に関しては、ご購入された販売店等にご連絡ください。

1. ヤンマートラクタ（カラーモニター付）と共通アグポートで接続する場合

①図のようにヘンカンコネクタ、レジスターモールドを接続してください。

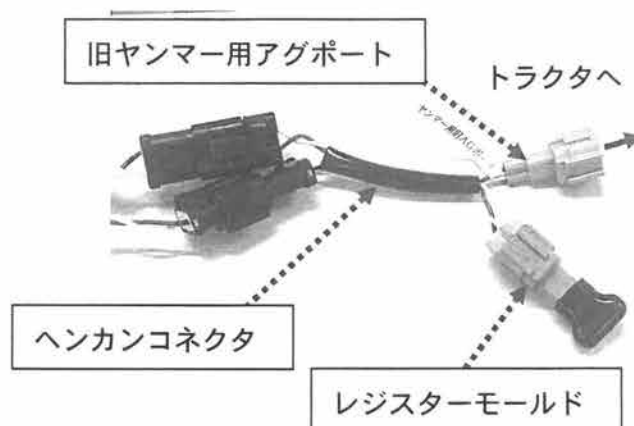
②コントロールボックスの共通アグポートをトラクタの共通アグポートに接続してください。



2. ヤンマートラクタ（カラーモニター付）と旧ヤンマー用アグポートで接続する場合

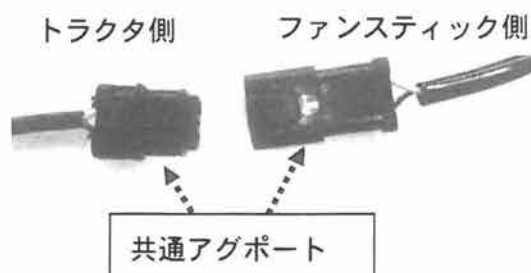
①図のようにヘンカンコネクタ、レジスターモールドを接続してください。

②コントロールボックスの旧ヤンマー用アグポートをトラクタの旧アグポートに接続してください。



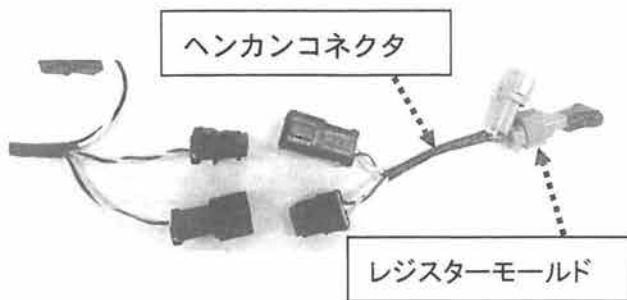
3. クボタトラクタ（アグポート付）とファンスティックが接続されている共通アグポートに接続する場合

①トラクタとファンスティックが繋がっている共通アグポートを外してください。

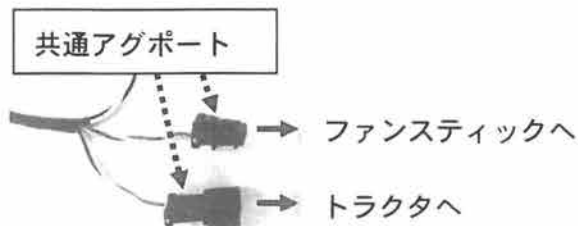


トラクタへの装着

- ②図のように、コントロールボックスから使用しないヘンカンコネクタ及びレジスターモールドを外してください。

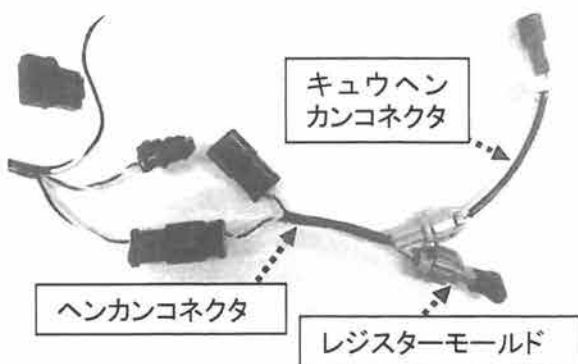


- ③コントロールボックスの共通アグポートをトラクタ、ファンスティックの共通アグポートに接続してください。

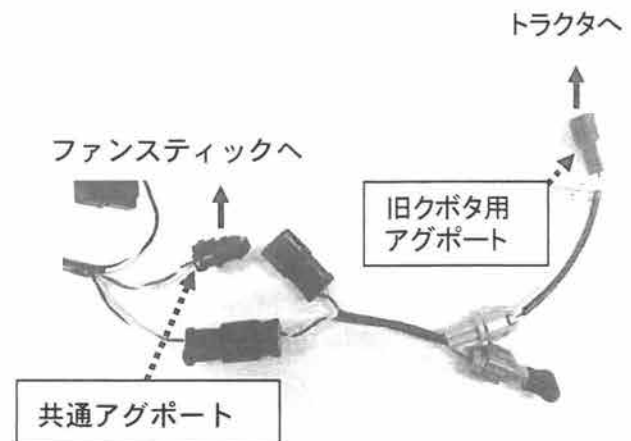


4. クボタトラクタ（アグポート付）にファンスティックと共に旧クボタ用アグポートで接続する場合

- ①図のように、ヘンカンコネクタ、キューヘンカンコネクタ、レジスターモールドを接続してください。

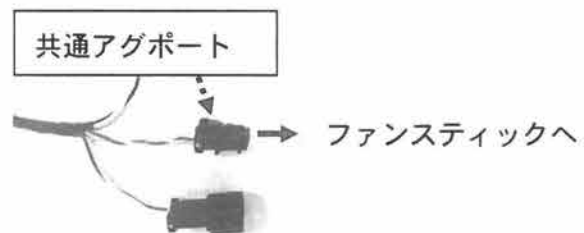


- ②コントロールボックスの共通アグポートをファンスティックに接続してください。旧クボタ用アグポートをトラクタの旧アグポートに接続してください。



5. ファンスティックとだけ共通アグポートで接続する場合

- ①コントロールボックスの共通アグポートにファンスティックの共通アグポートを接続してください。



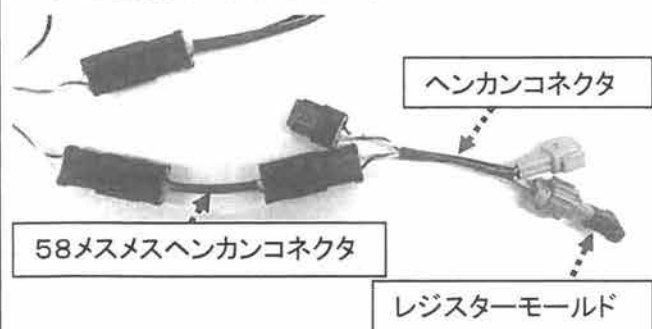
- ②①の状態でも使用できますが、アグポート規格上レジスターモールドが必要ですので、販売店から下記のコネクタを購入してください。



58メスメスヘンカンコネクタ
(45101-9180-000)

トラクタへの装着

③図のように、58メスメスヘンカンコネクタ、ヘンカンコネクタ、レジスターモールドを接続してください。



2. デンゲンブンキの接続のしかた

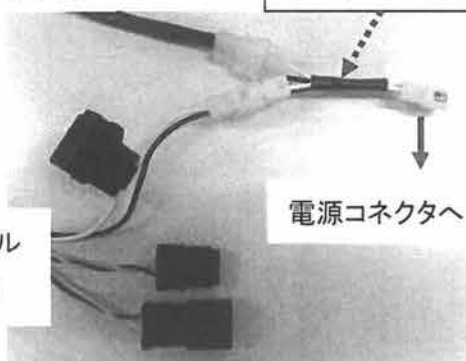
コントロールボックスとファンスティックを利用する際は、デンゲンハーネス又はトラクタの電源コネクタが足りなくなります。デンゲンブンキを利用してください。

ファンスティック側

デンゲンブンキ

コントロール
ボックス側

電源コネクタへ



運転に必要な装置の取扱い

作業機やアグポートを除くコントロールボックスの取扱いについては本体取扱説明書をご確認ください。

1. ファンスティックの取扱い

ファンスティックを利用することで、ファンスティックのレバーやスイッチを用いて「ベールを拾う」や「自動動作」を行うことができます。

また、トラクタ(アグポート付)と接続されている場合は、たておろし後、テーブルを自動で初期位置に戻すことができます。

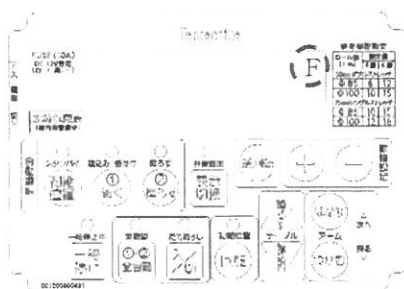
この機能を使用する場合は、次の要領で操作してください。

[1] アグポートの接続

トラクタへの装着「1. アグポートの接続のしかた」をご確認いただき、アグポートを接続してください。

[2] ファンスティックと接続

- ・周囲の安全を確認してからエンジンを始動して、コントロールボックスの電源を入れます。
- ・ファンスティックと繋がっている場合は、液晶画面に「F」が表示されます。

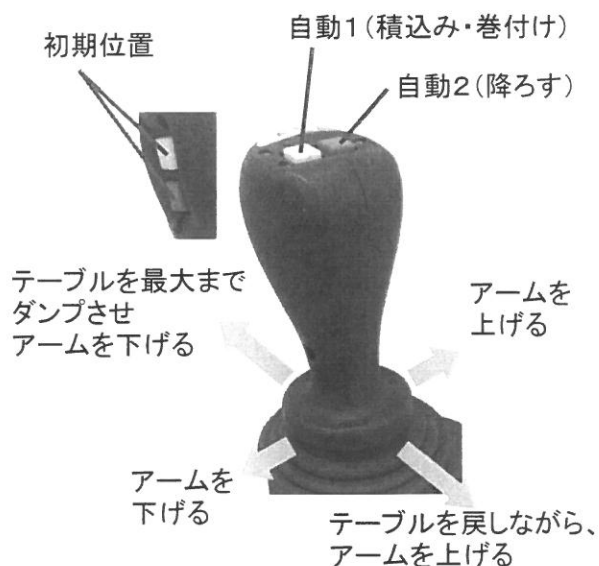


[3] ファンスティックで操作

- ・一旦切替えスイッチをロック位置にした後、「後方作業機」位置にしてください。



- ・コントロールボックスの他にファンスティックのレバーやスイッチで「ベールを拾う」および「自動運転」が行えます。動作確認をする際は、周囲の安全を確認してから、PTO回転速度を370～400 min⁻¹で作動させてください。



- ・操作間違いを防止するために、テーブルの角度で自動動作を規制しています。初期位置より上がっている場合、自動1(積込み・巻付け)スイッチが使用できます。自動2(降ろす)スイッチを押した場合、コントロールボックスの液晶画面に

テーブル サゲテ クダサイ

と表示され動作しません。自動2(降ろす)スイッチを動作させたい場合は、コントロールボックスで操作してください。初期位置より下がっている場合は、自動2

運転に必要な装置の取扱い

(降ろす)スイッチが使用できます。自動1(積み・巻付け)スイッチを押した場合、コントロールボックスの液晶画面に

テーブル アゲテ クダサイ

が表示され動作しません。自動1(積み・巻付け)スイッチを動作させたい場合は、コントロールボックスで操作してください。

- ・コントロールボックスを起動やリセットした際、ファンスティックのレバーやスイッチを押し続けていると、コントロールボックスの液晶画面に

ファンスティック ヲ カクニン

と表示され、操作できなくなりますのでレバーやスイッチから一旦手を放してください。

[4] 作業の中で

- ・作業方法「1. ファンスティックを操作した作業手順と要点」を参考に作業をしてください。

警告

切替えスイッチが「フロントローダ」位置になっているとフロント作業機の操作になります。

危険ですので、作業前にスイッチの位置を確認してから操作してください。

注意

ファンスティックとトラクタ(アグポート付)に接続している場合、たておろし後に1km/h以上で1秒間前進すると、自動でテーブルが初期位置に戻ります。ファンスティックのみと接続している場合は、ファンスティックの初期位置スイッチを押してください。

2. エコトラリンク(機能割当て)の取扱い

エコトラリンクの機能割当てを利用することで、トラクタの「作業機昇降スイッチ」や「チョイ上げ・チョイ下げスイッチ」を用いて、「ボールを拾う」や「自動動作」を行うことができます。

また、「たておろし後、テーブルが自動で初期位置に戻る」や「カラーモニターにエラーの詳細表示」をすることもできます。

この機能を使用する場合は、次の要領で操作してください。

[1] アグポートの接続

- ・トラクタへの装着「1. アグポートの接続のしかた」をご確認いただき、アグポートを接続してください。

[2] エコトラリンクと接続

- ・周囲の安全を確認してからエンジンを移動して、コントロールボックスの電源を入れます。

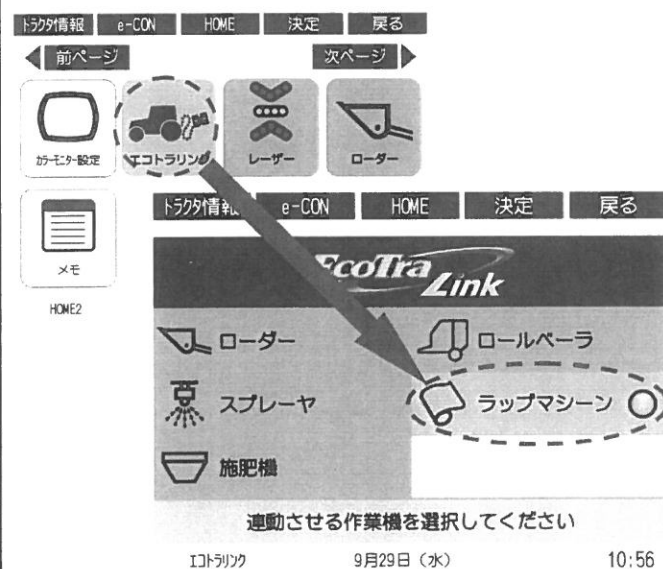
運転に必要な装置の取扱い

- ・カラーモニターの「HOME」を選択した後、「次ページ」を選択します。



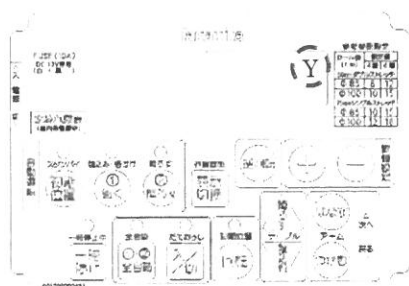
HOME1 9月29日(水) 10:46

- ・カラーモニターの「エコトラリンク」を選択した後、「ラップマシーン」を選択すると「ラップマシーン」の横にマークが付きます。

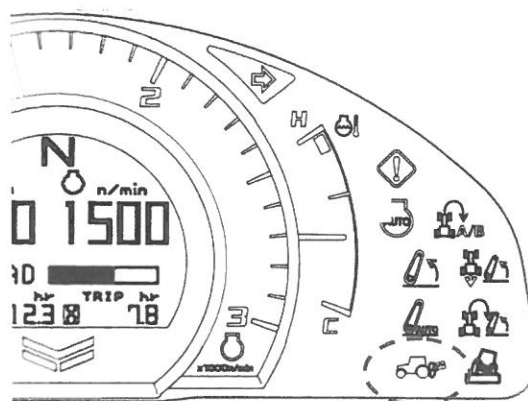


エコトラリンク 9月29日(水) 10:56

- ・エコトラリンクの機能割当てが有効になると、液晶画面に「Y」が表示されます。



また、この時トラクタのメーターパネルにあるトラクタ連動ランプも点灯します。



一度エコトラリンクを接続すると、次の起動時にも自動でエコトラリンクを接続します。

注意

アグポートの接続が途中で切れると、エコトラリンク(機能割当て)が解除されます。その場合、コントロールボックスの液晶画面に

エコトラリンク ミセツヅク
ボタン ソウサ デ リセット

と表示され、長い断続音でブザーが鳴り、異常をお知らせします。

注意

アグポートがショートすると、エコトラリンク(機能割当て)が解除されます。その場合、コントロールボックスの液晶画面に

バスOFF ツウシン フカ
ボタン ソウサ デ リセット

と表示され、長い断続音でブザーが鳴り、異常をお知らせします。

運転に必要な装置の取扱い

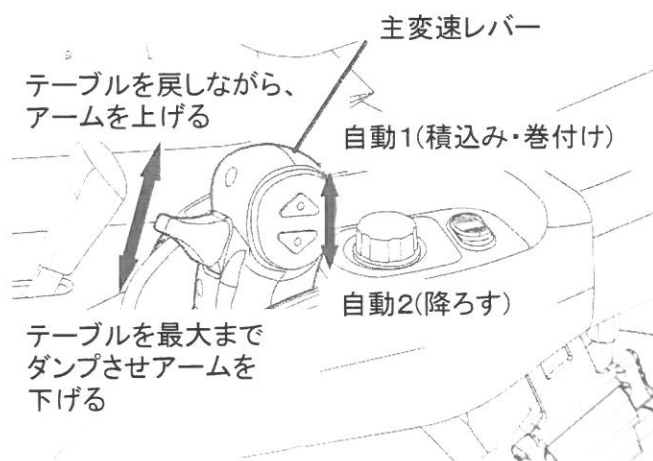
警告

エコトラリンクの機能割当てが無効になっていると「作業機昇降スイッチ」は3点リンクの上げ下げに使われるため、危険です。作業前にトラクタのトラクタ連動ランプとコントロールボックスのリンクランプが点灯しているかを確認してください。

[3] 主変速レバーで操作

- ・コントロールボックスの他に、主変速レバーでも「ペールを拾う」や「自動動作」を行います。

動作確認をする際は、周囲の安全を確認してから、P T O回転速度を $370 \sim 400 \text{ min}^{-1}$ で作動させてください。



- ・操作間違いを防止するために、テーブルの角度で自動動作を規制しています。
(初期位置より上がっている場合、自動1(積込み・巻付け)スイッチが使用できます。自動2(降ろす)スイッチを押した場合、コントロールボックスの液晶画面に

テーブル サゲテ クダサイ

が表示され、動作しません。自動2(降ろす)スイッチを動作させたい場合は、コントロールボックスで操作してください。

初期位置より下がっている場合は、自動2(降ろす)スイッチが使用できます。自動1(積込み・巻付け)スイッチを押した場合、コントロールボックスの液晶画面に

テーブル アゲテ クダサイ

が表示され、動作しません。自動1(積込み・巻付け)を動作させたい場合は、コントロールボックスで操作してください。

- ・自動動作中にもう一度自動1(積込み・巻付け)スイッチまたは自動2(降ろす)スイッチを押すと自動動作をキャンセルできます。

その場合、コントロールボックスの液晶画面に

ジドウ ドウサ ガ
キャンセル サレマシタ

が表示され、リセットします。

- ・コントロールボックスが起動やリセットした際、主変速レバーの「作業機昇降スイッチ」や「チョイ上げ・チョイ下げスイッチ」を押し続けているとコントロールボックスの液晶画面に

トラクタスイッチ ヲ カクニン

が表示され、押し続けていたスイッチのみ操作不能となります。

運転に必要な装置の取扱い

[4] 作業の中で

- ・作業方法「2. 主変速レバーを操作した作業手順と要点」を参考に作業をしてください。

！ 注意

エコトラリンクと繋がっている場合、たておろし後に1km/h以上で1秒間前進すると、自動でテーブルが初期位置に戻ります。

- ・エコトラリンクが繋がっているとき、各エラーの詳細がカラーモニターに表示されます。

<コントロールボックス表示>

ダンプ p t ハンノウナシ
ボタン ソウサ デ リセット

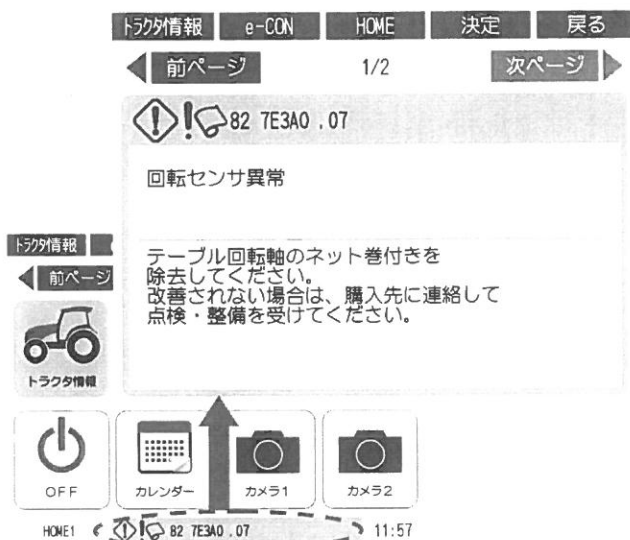
<カラーモニター表示>



<コントロールボックス表示>

カイトン s w ハンノウナシ
ボタン ソウサ デ リセット

<カラーモニター表示>



- ・PTOが回転していない場合、コントロールボックスの液晶画面に

P T O ヲ イレテクダサイ
ボタン ソウサ デ リセット

が表示され長い断続音でブザーが鳴り、お知らせします。

3. エコトラリンク（リモコン作業） の取扱い

エコトラリンクのエンジン回転制御を利用することで、リモコン作業での待機時、フィルム切れ時、またはエラー時にトラクタのエンジン回転数をアイドリングに下げ、燃料消費を抑えることができます。

この機能を使用する場合は、次の要領で操作してください。

※別途リモコンアタッチが必要です。リモコンアタッチの取扱いについては本体取扱説明書をご確認ください。

運転に必要な装置の取扱い

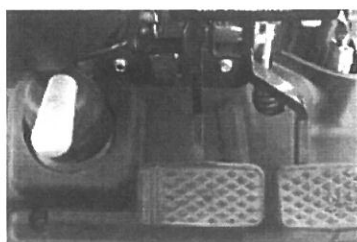
！警告

危険ですので、リモコンの増設はしないでください。

[1] 定置に設置

- ・水平な場所にトラクタとラップマシーンを移動し、トラクタで以下の操作をしてください。

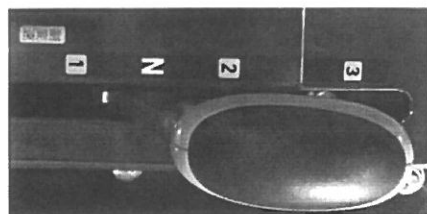
「駐車ブレーキ」をかけてください。



リバーサを「N」にしてください。



副変速を「N」にしてください。



[2] エコトラリンクの接続

- ・「2. エコトラリンク(機能割当て)の取扱い」
[1]～[2]の要領でエコトラリンクを接続してください。

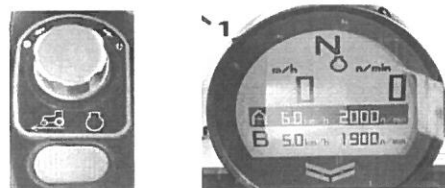
！注意

エコトラリンクを接続すると、主変速レバーでのラップマシーンの操作が有効になります。

[3] エンジン回転速度の設定

- ・ラップマシーンからトラクタのエンジン回転を制御する場合でも、トラクタのエンジン回転速度の上限規制が優先されます。

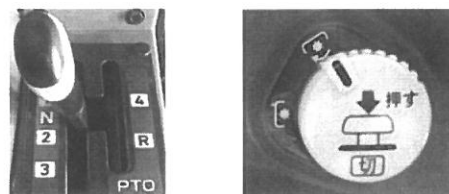
選択中のエンジン回転速度の上限を $2000\text{min}^{-1}(\text{rpm})$ 以上にしてください。



- ・エンジン回転速度は、アクセルレバーでアイドリングにしてください。

[4] PTOの設定

- ・PTO変速を「1または2」にし、周囲の安全を確認後、PTOスイッチを作動させてください。



注意

軽いベールや変形ベールは、PTO回転速度を下げてください。

エコトラリンクを繋ぎ、リモコンで作業する場合のPTO回転速度は、「4. コントロールボックスの取扱い」の「設定モードの表示と変更方法」の要領で「No. 15」を下げてください。

運転に必要な装置の取扱い

[5] 作業の中で

- ・作業方法「3. エコトラリンクを繋いだリモコン作業手順と要点」を参考に作業をしてください。

リモコン操作1回目で、PTO回転速度が定回転になるようにエンジン回転速度を調整・記憶しますが、2回目以降は瞬時にエンジン回転速度を上げます。

警告

トラクタから降りて、リモコンで作業機を操作する場合は、必ずトラクタのリバーサレバーを「N（中立）」、副変速を「N」にして、駐車ブレーキをかけてください。

- ・エコトラリンクが繋がっているときは、フィルム切れエラーの詳細がカラーモニターに表示されます。

<コントロールボックス表示>

フィルム ガ ナクナリ マシタ
イチジテイシ デ サイカイ

<カラーモニター表示>

トラクタ情報 e-CON HOME 決定 戻る
前ページ 1/1 次ページ



フィルム切れ

フィルムを交換してください。

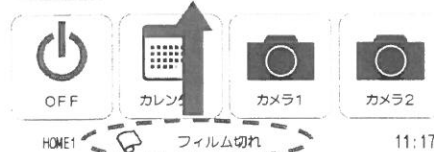
トラクタ情報

前ページ



トラクタ情報

フィルムがなくなりました。
フィルムを交換しても改善されない場合は、
フィルム切れ上センサ、フィルム切れ下センサ
の設定を確認してください。



- ・操作を誤っている場合、コントロールボックスの液晶画面やカラーモニターに内容を表示してお知らせします。表示内容に従って操作し直してください。

<コントロールボックス表示>

チュウシャブレーキ ヲ カケル

駐車ブレーキをかけてください。

<コントロールボックス表示>

リバーサ N シテクダサイ

リバーサを「N」にしてください。

<コントロールボックス表示>

フクヘンソク サゲル

副変速を「N」にしてください。

<コントロールボックス表示>

PTO ヲ イレテクダサイ

PTOスイッチを作動させてください。

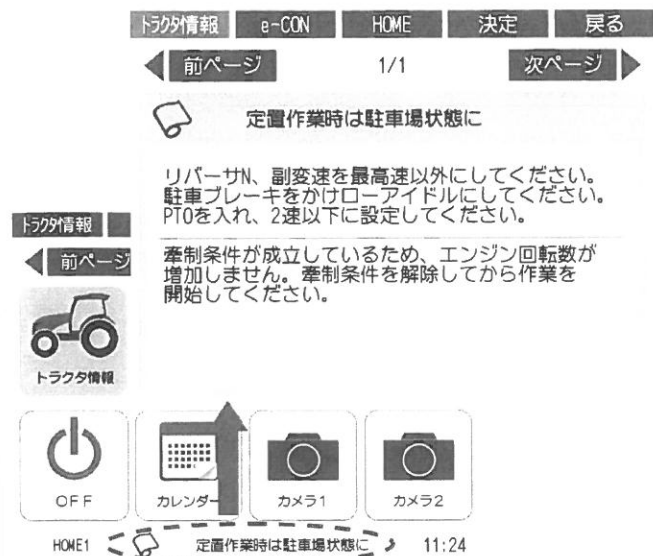
<コントロールボックス表示>

PTO ヲ サゲル (1, 2 ソク)

PTO変速を「1または2」のいずれかに入れてください。

運転に必要な装置の取扱い

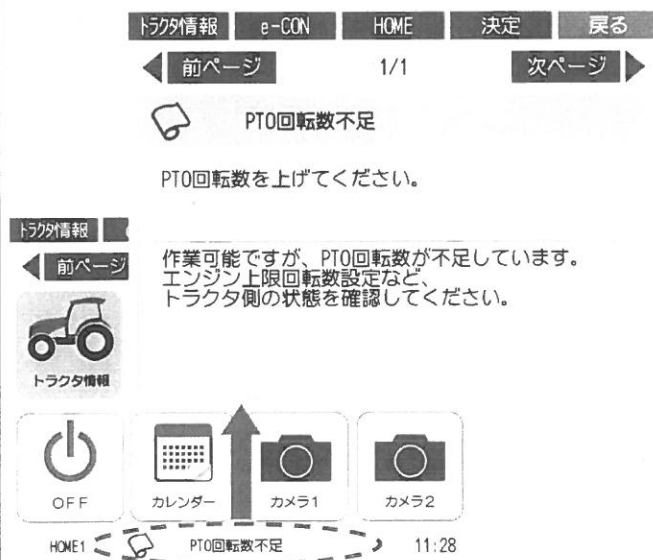
<カラーモニター表示>



<コントロールボックス表示>

エンジン ニ セイゲン アリ

<カラーモニター表示>



トラクタのエンジン上限規制に引っかかり、エンジン回転速度を上げ切れません。作業はできますが、作業効率が悪いので、選択中のエンジン回転速度の上限を2000 min⁻¹(rpm)以上に再設定してください。

運転に必要な装置の取扱い

4. コントロールボックスの取扱い

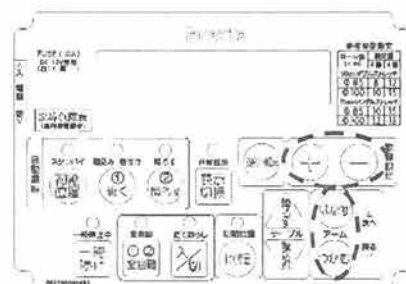
コントロールボックスの取扱いについては本体取扱説明書をご覧ください。

◆設定モードの表示と変更方法

- ・「表示切替ボタン」を2回押すと設定モードに入ります。

セッテイ モード

- ・以下のボタンで設定変更してください。
 - ・「アームはなすボタン」：次の項目を表示
 - ・「アームつかむボタン」：前の項目を表示
 - ・「+ボタン」、「-ボタン」：値を変更



注意

無関係な設定変更は動作不良に繋がりますので、しないでください。

1～12項目の設定は本体取扱説明書をご覧ください。

No.	表示	内容
1 3	ゼンシンレンドウ ショキチ ON ON	トラクタとアグポートで接続していると、バールをたておろし後、トラクタを1 km/h以上で1秒間前進させたとき、自動でテーブルが初期位置に戻ります。 不必要な場合は設定をOFFにしてください。
1 4	エンジン セイギョ ショキチ ON ON	ヤンマートラクタ（カラーモニター付）とエコトラリンクで繋がっていると、リモコン作業時にエンジン回転速度を ・作業時：定回転 ・待機、エラー、フィルム切れ時：アイドルに自動調整します。 不必要な場合は設定をOFFにしてください。
1 5	P T O 4 0 0 r p m ショキチ 4 0 0 r p m	1 4 項目の作業時のP T O回転速度を設定できません。 注意 P T O回転速度を400min ⁻¹ (rpm)を超えて作業しないでください。バールの落下、油圧ポンプのオイル漏れ・故障に繋がる可能性があります。 軽いバールや変形バールはP T O回転速度を下げて作業してください。

設定変更が終わったら、「表示切替ボタン」を4回押して、「作業画面LED」を点灯させてください。また、先にバールを載せないままで変更した動作を確認してください。

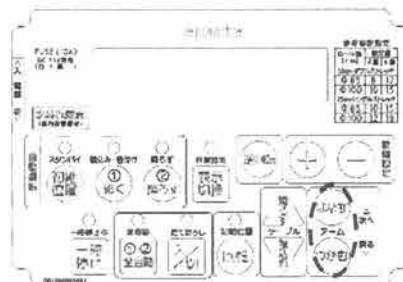
運転に必要な装置の取扱い

◆アグポートチェックモードの表示

- ・「表示切替ボタン」を5回押すと、アグポートチェックモードに入ります。
コントロールボックスがアグポートに接続されていると、アグポートからの情報を確認できます。

アグポート チェックモード

- ・以下のボタンで表示を変更してください。
 - ・「アームはなすボタン」：次の項目を表示
 - ・「アームつかむボタン」：前の項目を表示



No.	表示	内容
1	ゼンコウシン 0 シャソク 0 km/h	トラクタ(アグポート付)の前後進、車速状態を表示。 ・前後進 1：前進 0：後進 ・車速 km/h
2	PTO 0 rpm Fボタン 0	トラクタ(アグポート付)のPTO状態、ファンスティックのスイッチ状態を表示。 ・PTO回転速度 min ⁻¹ (rpm) ・ボタン 0：スイッチがロック位置又はアグポート未接続 1 6：スイッチが前方作業機 3 2～4 7：スイッチが後方作業機 3 3：上面左(黄色)ON 3 4：上面右(青色)ON 3 6：前面上(黄色)ON 4 0：前面下(青色)ON
3	Fレバー ゼンゴ 2 0 4 8 Fレバー サユウ 2 0 4 8	ファンスティックのレバー状態を表示。 ・前後の値 2 0 4 8：ロック、中立状態又はアグポート未接続 2 0 4 7以下：前に倒す 2 0 4 9以上：後に倒す ・左右の値 2 0 4 8：ロック、中立状態又はアグポート未接続 2 0 4 7以下：右に倒す 2 0 4 9以上：左に倒す

アグポート確認が終わったら、「表示切替ボタン」を1回押して、「作業画面LED」を点灯させてください。

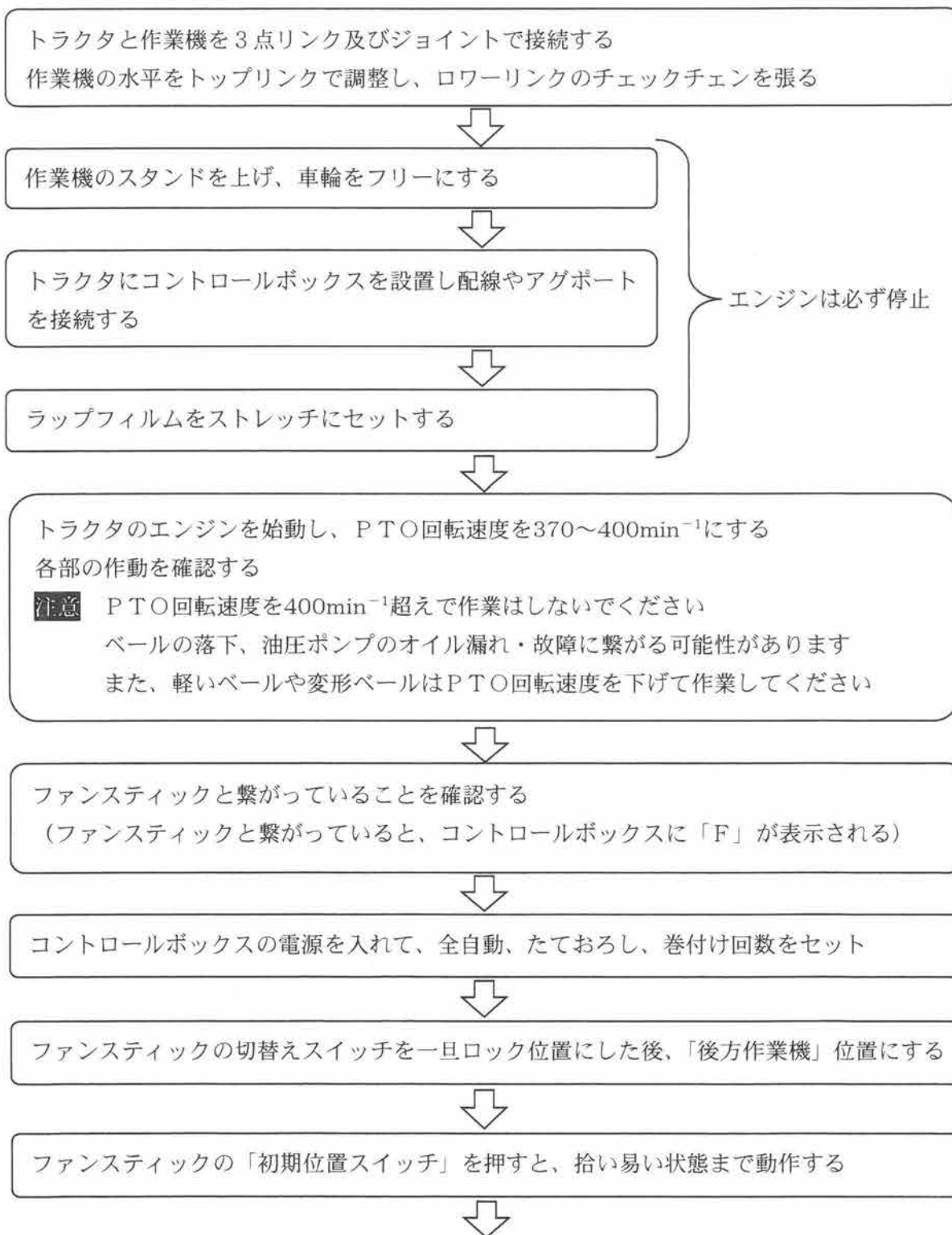
作業方法

作業機やアグポートを除くコントロールボックスの作業方法は、本体取扱説明書をご覧ください。

1. ファンスティックを操作した作業手順と要点

⚠ 注意

コントロールボックスの電源が入っている場合は、コントロールボックスやリモコンのボタンを押すと動作します。機械に近づく際は必ずPTOを切り、トラクタのエンジンを停止してください。



作業方法

連続作業

走行してベール位置へ移動し、ベールが両端のサイドローラ、ハウシュツローラ間に入るようにトラクタの位置を合わせて停止する



ファンスティックの「テーブルを最大までダンプさせアームを下げるレバー」でベールを掴む

※位置合わせに失敗した場合は、他のレバーやコントロールボックスを操作して掴み直す



「自動1（積込み・巻付け）スイッチ」を押す（積込み→アームはなす→ラッピング）
※全自動設定がONの場合に「自動1（積込み・巻付け）スイッチ」を押すと、継続して「自動2（降ろす）スイッチ」の動作も行う



ベールを降ろす位置に合わせて走行を停止する

※全自動設定がOFFの場合は「自動2（降ろす）スイッチ」を押す

たておろしありの場合



ベールを降ろした後、テーブルが降ろした状態で止まる

たておろしなしの場合



ベールを降ろした後、自動でテーブルが初期位置に戻る



トラクタを1 km/h以上で1秒間前進させる（テーブルが初期位置に戻る）

※トラクタ（アグポート付）と接続していない場合はファンスティックの「初期位置スイッチ」を押す



テーブル、アームを下げてからPTOを止めてエンジンを停止する



作業機の清掃及びグリスアップを行う



コントロールボックスの電源を切り、トラクタから外す



作業機のスタンド（固定）を下げて、車輪を固定する



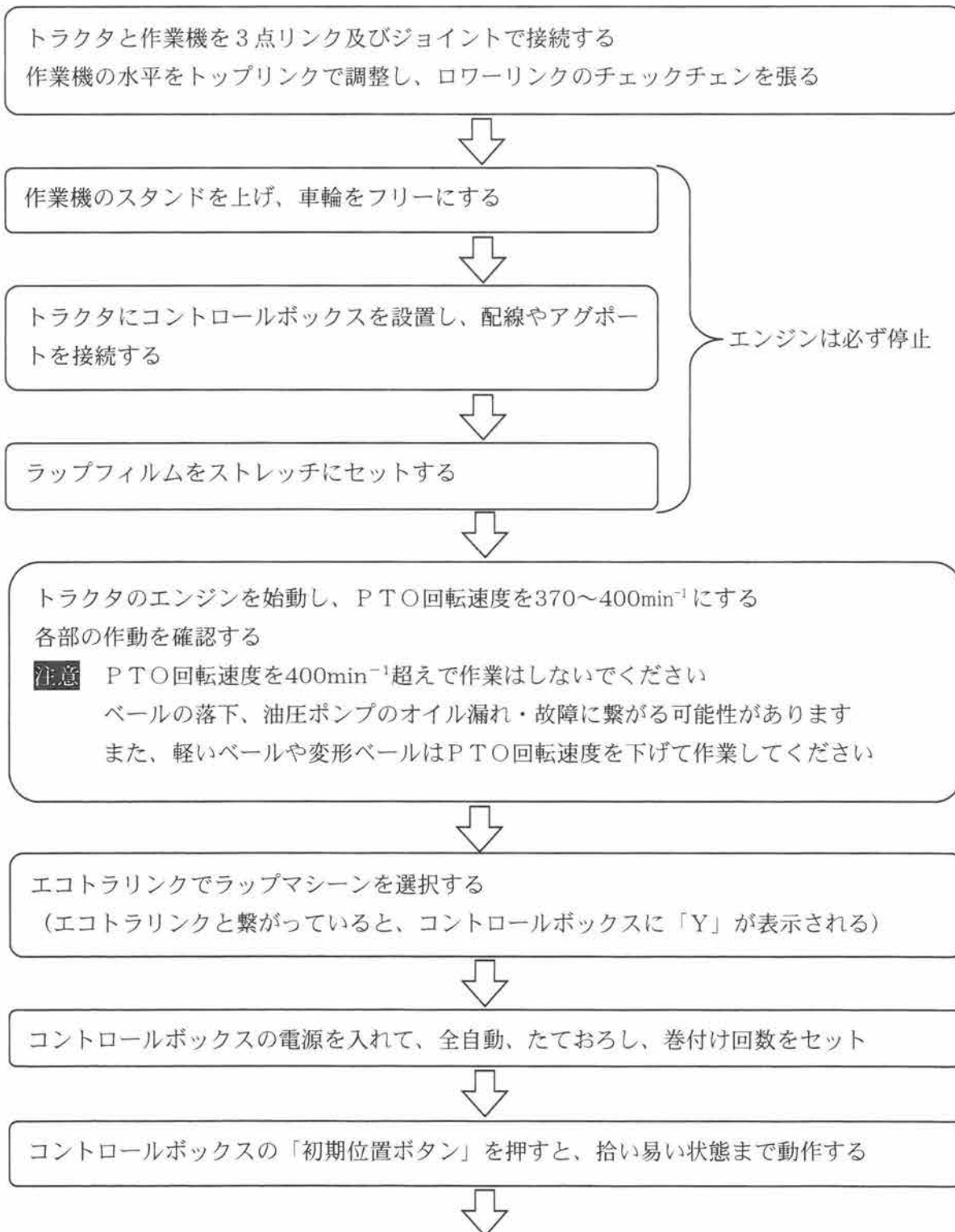
作業機を降ろし、ジョイント→トップリンク→ロワーリンクの順に外し、トラクタと作業機を切り離す
（作業機を屋外保管する場合は、コントロールボックス及びフィルムは外し屋内保管する）

作業方法

2. 主変速レバーを操作した作業手順と要点

！ 注意

コントロールボックスの電源が入っている場合は、コントロールボックスやリモコンのボタンを押すと動作します。機械に近づく際は必ずP T Oを切り、トラクタのエンジンを停止してください。



作業方法

連続作業

走行してベール位置へ移動し、ベールが両端のサイドローラ、ハウシュツローラ間に入るようにトラクタの位置を合わせて停止する

主変速レバーの「テーブルを最大までダンプさせアームを下げるスイッチ」でベールを掴む

※位置合わせに失敗した場合は「テーブルを戻しながらアームを上げるスイッチ」やコントロールボックスを操作して掴み直す

「自動1（積込み・巻付け）スイッチ」を押す（積込み→アームはなす→ラッピング）

※全自動設定がONの場合に「自動1（積込み・巻付け）スイッチ」を押すと継続して自動2（降ろす）スイッチの動作も行う

ベールを降ろす位置に合わせて走行を停止する

※全自動設定がOFFの場合は「自動2（降ろす）スイッチ」を押す

たておろしありの場合

ベールを降ろした後、テーブルが降ろした状態で止まる

たておろしなしの場合

ベールを降ろした後、自動でテーブルが初期位置に戻る

トラクタを1 km/h以上で1秒間前進させる（テーブルが初期位置に戻る）

テーブル、アームを下げてからPTOを止めてエンジンを停止する

作業機の清掃及びグリスアップを行う

コントロールボックスの電源を切り、トラクタから外す

作業機のスタンド（固定）を下げて、車輪を固定する

作業機を降ろし、ジョイント→トップリンク→ロワーリンクの順に外し、トラクタと作業機を切り離す

（作業機を屋外保管する場合、コントロールボックス及びフィルムは外し屋内保管する）

作業方法

3. エコトラリンクを繋いだリモコン作業手順と要点

注意

コントロールボックスの電源が入っている場合は、コントロールボックスやリモコンのボタンを押すと動作します。機械に近づく際は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけ、P T Oを切ってください。

トラクタと作業機を3点リンク及びジョイントで接続する
作業機の水平をトップリンクで調整し、ロワーリンクのチェックチェンを張る



水平な場所でロワーリンクを降ろし、トラクタの
駐車ブレーキをかけ、リバーサと副変速を「N」にする



ラップフィルムをストレッチにセットする
※フィルムをストレッチ装置に通す際は、フィルムギレセン
サの取付け部にフィルムを引っ掛けないように通す

エンジンはず必ず停止



トラクタのエンジンを始動し、エコトラリンクでラップマシーンを選択する
(エコトラリンクと繋がっていると、コントロールボックスに「Y」が表示される)



エンジン回転速度の上限が 2000min^{-1} 以下の場合、 2000min^{-1} まで上げられるように
再設定する (エンジン回転速度はアクセルレバーでアイドルにする)



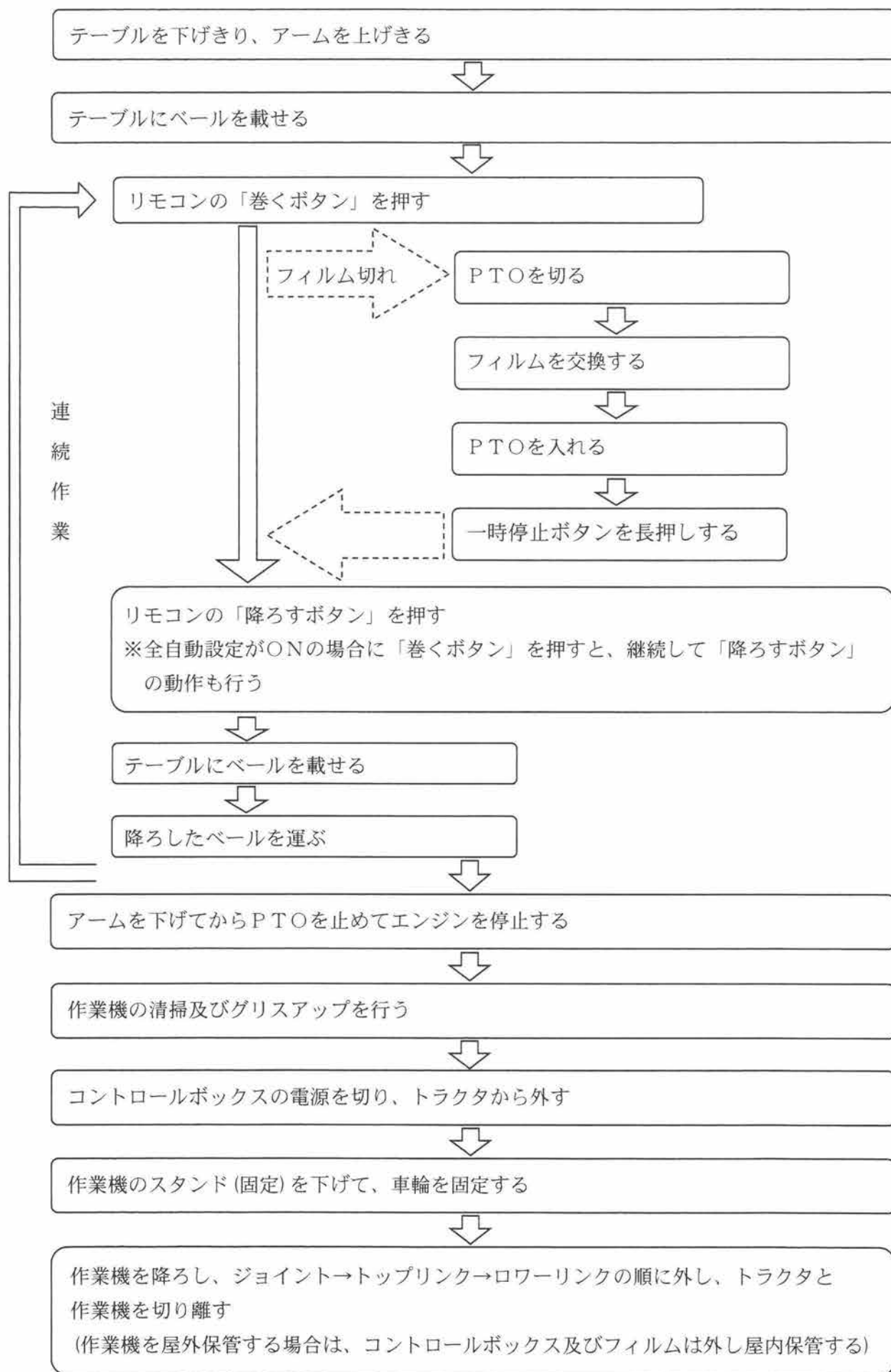
P T O変速を「1または2」のいずれかにし、P T Oスイッチを作動する
注意 軽いベールや変形ベールはP T O回転速度を下げたて作業してください



全自動、たておろし、巻付け回数、フィルム切れ機能を設定する
※50cmフィルムをシングルで使用する場合は、フィルムが通過しない方のフィルムギレ
機能の設定をOFFにする



作業方法



不調診断

作業機やアグポートを除くコントロールボックスの不調診断は、本体取扱説明書をご覧ください。

表示とブザー	診断	処置	参照 ページ
コントロールボックスの操作ができない。 バスOFF ツウシン フカ ボタン ソウサ デ リセット	アグポートの緑色線と黄色線が接触している。	- 配線を確認してください。 - トラクタ〜コントロールボックス間の各線(緑色線と黄色線)が違う色線につながっていないか確認してください。 - トラクタ〜コントロールボックス間の各線がエッジなどに接触し被覆が破れていないか確認してください。	2、3 2、3 —
自動2(降ろす)スイッチがきかない。 テーブル サゲテ クダサイ	押し間違え規制	・コントロールボックスで操作してください。	5、8
自動1(積込み・巻付け)スイッチがきかない。 テーブル アゲテ クダサイ	押し間違え規制	・コントロールボックスで操作してください。	5、8
たておろし後、自動でテーブルが初期位置に戻らない。	トラクタとコントロールボックスがアグポートで接続されていない。	- トラクタとコントロールボックスがアグポートで接続されているか確認してください。 - レジスターモールド(終端抵抗 120Ω)が接続されているか確認してください。	2、3 2、3
	コントロールボックスの「ゼンシンレンドウ」の設定がOFFになっている。	コントロールボックスの設定モードで「ゼンシンレンドウ」の設定をONにしてください。	13
	エコトラリンクに接続していない。	・カラーモニターのエコトラリンク接続先がラップマシーンになっているか確認してください。	7
		・トラクタのメーターパネルにあるトラクタ連動ランプが点灯しているかを確認してください。	7
		・コントロールボックスに「Y」と表示されているか確認してください。	7
	トラクタ側で故障が発生している。	・配線を確認してください。 販売店に相談してください。	2 —

不 調 診 断

表示とブザー	診断	処置	参照 ページ
たておろし後、自動でテーブルが初期位置に戻らない。	ファンスティックに接続していない。	・コントロールボックスに「F」と表示されているか確認してください。 ・配線を確認してください。	5 2
	ファンスティックの切替えスイッチが「後方作業機」になっていない。	ファンスティックの切替えスイッチを「後方作業機」にしてください。	5
	アグポートに必要なトラクタ情報(車速、前後進、PTO回転速度)が流れてこない。	・アグポートチェックモードで車速、前後進、PTO回転速度を確認する。 ・販売店に相談してください。	14 —
ファンスティックのレバーやスイッチの操作がきかない。	エンジンを始動した後、一旦切替えスイッチをロック位置に戻していない。	エンジンを始動した後、一旦切替えスイッチをロック位置にし、「後方作業機」位置にしてください。	5
ファンスティックのレバーやスイッチの操作がきかない。	ファンスティックのスイッチを押したまま、コントロールボックスの電源投入又はリセットを行った。	ファンスティックのスイッチを押さない。	6
ファンスティック ヲ カクニン	ファンスティックのスイッチが故障している。	・アグポートチェックモードで確認する。 ・販売店に相談してください。	14 —

不 調 診 断

表示とブザー	診断	処置	参照 ページ
- 主変速レバーで作業機を操作できない。 - エンジン回転速度が上がらない。 エコトラリンク ミセツゾク ボタン ソウサ デ リセット	自動動作にエコトラリンク接続が切れました。	- トラクタとコントロールボックスがアグポートで接続されているか確認してください。 - レジスターモールド(終端抵抗 120Ω)が接続されているか確認してください。 - カラーモニターのエコトラリンク接続先がラップマシーンになっているか確認してください。	2、3 2、3 6、7
主変速レバーの一部のスイッチの操作がきかない。	主変速レバーのスイッチを押したまま、コントロールボックスの電源投入又はリセットを行った。	主変速レバーのスイッチを押さずに、コントロールボックスの電源を入れ直してください。	8
トラクタスイッチ ヲ カクニン	エコトラリンクに接続していない。	- カラーモニターのエコトラリンク接続先がラップマシーンになっているか確認してください。 - トラクタのメーターパネルにあるトラクタ連動ランプが点灯しているかを確認してください。 - コントロールボックスに「Y」と表示されているか確認してください。 - 配線を確認してください。	7 7 7 2
	トラクタ側で故障が発生している。	販売店に相談してください。	—
	作業昇降スイッチ、チョイ上げスイッチ、チョイ下げスイッチが故障している。	主変速レバーのスイッチを操作したときに操作音が鳴ることを確認してください。鳴らない場合は、販売店に相談してください。	—
リモコンで自動運転がきかない。	リモコン作業時のトラクタの設定ができていない。	トラクタの設定をやり直す。	9、10
チュウシャブレーキ ヲ カケル	エコトラリンクに接続していない。	- カラーモニターのエコトラリンク接続先がラップマシーンになっているか確認してください。 - トラクタのメーターパネルにあるトラクタ連動ランプが点灯しているかを確認してください。 - コントロールボックスに「Y」と表示されているか確認してください。 - 配線を確認してください。	7
リバーサ N シテクダサイ			7
フクヘンソク サゲル			7
PTO ヲ イレテクダサイ			2
PTO ヲ サゲル (1、2ソク)	トラクタ側で故障が発生している。	販売店に相談してください。	—
リモコン作業時にエンジン回転速度が定回転まで上がらない。	エコトラリンクに接続していない。	カラーモニターのエコトラリンク接続先がラップマシーンになっているか確認してください。	6、7
エンジン ニ セイゲン アリ	トラクタのエンジン上限規制	エンジン上限規制を2000 min ⁻¹ (rpm)以上にしてください。	10

付 表

1. トラクタメーカー別機能一覧

クボタトラクタ 適応表	ファンスティックで操作 ※3	たておろし後、 自動で初期位置 ※3	アグポート 接続方法 ※4
SL320	○	○	3
SL350	○	○	
SL380	○	○	
SL410	○	○	
SL450	○	○	
SL480	○	○	
SL540	○	○	
SL600	○	○	
SL350H	○	○	
SL380H	○	○	
SL410H	○	○	
SL450H	○	○	
SL480H	○	○	
SL540H	○	○	
SL600H	○	○	
MR60	○	○	
SL35	○	○	4
SL38	○	○	
SL41	○	○	
SL45	○	○	
SL48	○	○	
SL54	○	○	
SL60	○	○	
SL33L	○	○	
FT300	○	○	
アグポート無しトラクタ	○	×	5

※3 ご使用になるトラクタにファンスティックが付いている必要があります。

※4 トラクタへの装着「1. アグポートの接続のしかた」の項目番号を示しています。

付 表

ヤンマートラクタ 適応表	主変速 レバーで操作 ※1	リモコン作業時 エンジン制御 ※1	たておろし後、 自動で初期位置	アグポート 接続方法 ※4
YT330A ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	1
YT333A ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT338A ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT345A ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT352A ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT357A ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT460A ※2 (i-HMT仕様)	○	○	○	
YT465A ※2 (i-HMT仕様)	○	○	○	
YT330 ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	2
YT333 ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT338 ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT345 ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT352 ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	
YT357 ※2 (DOP, i-HMT仕様)	○	○	○	

※1 ご使用になるトラクタにカラーモニターが付いており、i-HMT仕様である必要があります。

※2 カラーモニターでエコトラリンクを選択後、ラップマシンのアイコンが表示されていることを確認してください。

表示がされている場合は、エコトラリンクで接続が可能です。

表示がされていない場合は、トラクタのソフトを最新版に更新してください。

更新に関しては、ご購入された販売店等にご連絡ください。

※4 トラクタへの装着「1. アグポートの接続のしかた」の項目番号を示しています。

付 表

2. アグポートアタッチ電装回路図

作業機の電装回路図や油圧回路図は、本体取扱説明書をご覧ください。

